

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	ブランド推進・6次産業化事業			事業コード	1725
担当課等	所属名	農林部 農政課	担当係名		
	課長名	小原俊彦	担当者名	農林部 農政課	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 - 款 - 項 - 目 - (00-0-)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 平成17年度～)		
事務事業の概要	平成18年1月27日の盛岡ブランド宣言を受け、盛岡市内で生産される農畜産物のブランド化を図る。					
根拠法令等	盛岡ブランド推進計画					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成18年1月27日のブランド宣言により、元気なまち盛岡の全国的な知名度アップにつながるため。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
農業委員会建議要望において、当該事業の拡充の要望が出されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
ブランド化による商品の有利販売を図る生産者による「盛岡りんごフェア」などのイベント参加の体系が出来上がった。事業の拡充には商業、工業の面からも付加価値を加えていく新たな取り組み体制を整える必要がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	認証商品	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡りんご・津志田芋	単位	種
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ブランド認証に向けた関係機関等との会議・認証者商品のPR活動 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ブランド認証に向けた関係機関等との会議・認証者商品のPR活動	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. PR活動・会議の開催	単位	回
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	盛岡市内で生産される農畜産物における産地間競争力を強化する	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 農産物フェアによる売上げ(盛岡りんご) 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	千円
				B. 農産物フェアによる売上げ(津志田芋) 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	千円
				C. 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位: 人) 農業純生産額(単位: 百万円) 林業純生産額(単位: 百万円)		

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない <input checked="" type="radio"/> 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

理由:盛岡ブランドを推進することにより、盛岡で生産される農畜産物のイメージアップとなり、農林業の振興につながる。

理由:市として取り組むことにより、農林業だけでなく商業、工業などの他産業や市全体への波及効果が見込まれる。

理由:市内で生産される農畜産物に付加価値を与え、産地間競争への有利性を見出すものであり、現状で妥当と考えられる。

理由:市内で生産される農畜産物に付加価値を与え、産地間競争への有利性を見出すものであり、現状で妥当と考えられる。

理由:市内で生産される農畜産物に付加価値を与え、産地間競争への有利性を見出すものであり、現状で妥当と考えられる。

理由:市内で生産される農畜産物に付加価値を与え、産地間競争への有利性を見出すものであり、現状で妥当と考えられる。

理由:市内で生産される農畜産物に付加価値を与え、産地間競争への有利性を見出すものであり、現状で妥当と考えられる。

理由:市内で生産される農畜産物に付加価値を与え、産地間競争への有利性を見出すものであり、現状で妥当と考えられる。

理由:市内で生産される農畜産物に付加価値を与え、産地間競争への有利性を見出すものであり、現状で妥当と考えられる。

理由:市内で生産される農畜産物に付加価値を与え、産地間競争への有利性を見出すものであり、現状で妥当と考えられる。

理由:市内で生産される農畜産物に付加価値を与え、産地間競争への有利性を見出すものであり、現状で妥当と考えられる。

理由:農畜産物をブランド化、高付加価値化することにより、全国への情報発信・産地間競争における有利性を確保することが目標である。

その内容:既に認証を受けている商品の産地間競争力と盛岡産農畜産物の情報発信につながる機会が現象する。

理由:現状では予算配分がない。

理由:すでに削減済みである。


理由:盛岡ブランド認証制度にもとづき実施されている。

理由:盛岡ブランド認証制度にもとづき実施されている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
---------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり …… ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり …… ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり …… ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ……	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 生産者や関係機関と連携した生産から流通、消費に係る一体的な推進が必要である。											
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										
													
方向付けの理由と改革改善の内容 市内農畜産物のブランド化や6次産業化は農林業の振興や農家所得向上に繋がるものであるため、今後は盛岡ブランド認証農産物である「行者ニンニク」や23年度ブランド認証を予定している「もりおか短角牛」などの振興も併せて図ることとして、継続する。													